取扱説明書

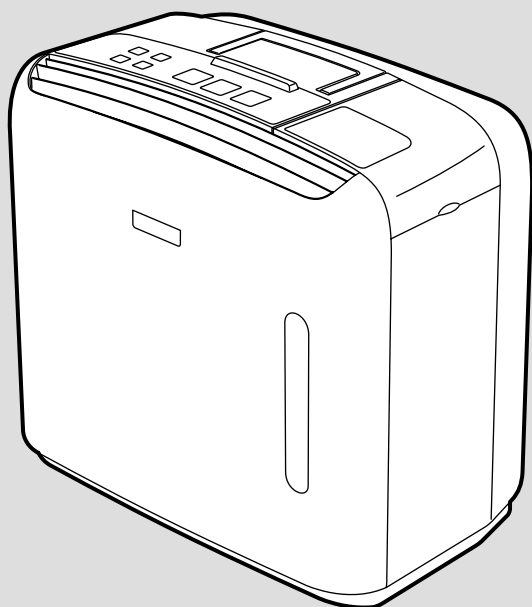
日立リビングサプライ

保証書付 保証書はこの取扱説明書の裏表紙についていますので、お買い上げの販売店の記入をお受けください。

家庭用

フィルター気化式加湿器

HLF-52形

このたびはフィルター気化式加湿器をお買い上げいただき、まことにありがとうございました。
この取扱説明書をよくお読みになり、正しくご使用ください。
お読みになったあとは大切に保存してください。

Hitachi Living Systemsは
日立リビングサプライの英文社名です。

目　次

●このフィルター気化式加湿器は一般家庭用です。他の用途でのご使用はしないでください。
思わぬ事故の原因となります。
●地震・火災など緊急時や異常時には、直ちに電源プラグを抜き、ご使用を中止してください。

特　長

安全

吹き出し口が熱くない

ヒーターレスファン加湿方式

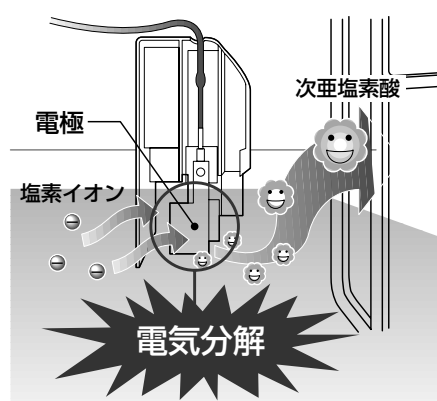
ヒーターレスファン加湿方式は、洗濯物を自然の風で乾かすように、
水を含んだ加湿フィルターに風をあてて気化させる方式です。
蒸気を出さないため、吹き出し口は熱くなりません。
何でも触りたい好奇心いっぱいの赤ちゃんや、
お子様の部屋にもおすすめできます。
また、必要なときに必要なだけ加湿をするので、
過加湿による結露も抑えます。

清潔

水も空気も除菌※1※2する

電解水除菌システム※3搭載

電解水技術で、水道水の塩素イオンからつくり出した『次亜塩素酸』が、加湿水をしっかり除菌※1。雑菌の繁殖やイヤな臭いを抑えます。
運転停止中でも、電源が入っていれば一日中効果は持続します。
また、運転中には加湿フィルターに吸い上げられる『次亜塩素酸』によって、加湿空気に含まれる浮遊菌※2や浮遊ウィルス※4を抑制するので、加湿空気がいつも清潔です。

※1.水の除菌＿公的試験機関：（財）日本食品分析センター／試験方法：寒天平板培養法／除菌の方法：電気分解
※2.空気の除菌＿公的試験機関：（財）北里環境科学センター／試験方法：1m³の試験BOX内に菌を浮遊させ機器を動作後、一定時間後の浮遊菌数を測定。
※3.水道水の塩素イオンを利用し、電気分解することで生成される次亜塩素酸で除菌するシステム
※4.公的試験機関：（財）北里環境科学センター／試験方法：1m³の試験BOX内にウィルスを浮遊させ機器を動作後、一定時間後の浮遊ウィルス数を測定。

『アレルブロックフィルター』で加湿フィルターにあてる風も清潔

大きなエアフィルターでしっかりキャッチして、ほこり・ダニのフンや死骸・ウィルスを抑制※5。さらに脱臭※6効果もあります。

※5.公的試験機関：大阪府立公衆衛生研究所／試験方法：ウィルス不活化試験
※6.（財）日本紡績検査協会／試験方法：アンモニア、酢酸、ホルムアルデヒドによる検知管法

安全のため必ずお守りください

絵表示について

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠警告

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

⚠注意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

この記号は注意（危険・警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な注意内容が描かれています。

この記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容が描かれています。

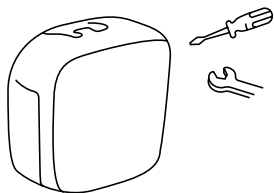
この記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中や近傍に具体的な指示内容が描かれています。

⚠警告

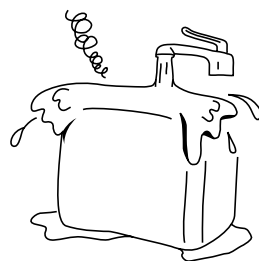
分解修理・改造の禁止

分解禁止

分解修理･改造はしないでください。

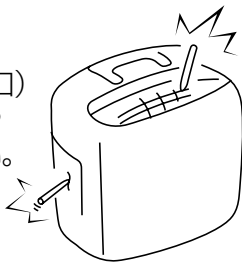
火災・感電・けがの原因となります。
修理は、お買いあげの販売店、またはご相談窓口にご相談ください。

水をかけない

水ぬれ禁止

本体を水につけたり、本体に水をかけたりしないでください。

ショート・感電のおそれがあります。

異物を入れない

禁　止

吹出口や吸込グリル（吸気口）にピンや針金などの金属や異物を入れないでください。

感電や異常動作でけがをすることがあります。

幼児の手の届く範囲では使用しない

禁　止

感電やけがをすることがあります。

お手入れのときは電源プラグを抜く

電源プラグを抜く

お手入れのときは、必ず電源プラグを抜いてください。

感電・けがの原因になります。

電源コードをいためない

禁　止

電源コードを傷つける、破損する、加工する、無理に曲げる、引っ張る、ねじることなどはしないでください。

電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。

電源プラグは根元まで確実に差し込む

実　施

差し込みが不完全だったり、いたんだプラグ、ゆるんだコンセントを使用しないでください。

感電や発熱による火災の原因になります。

電源プラグのほこりを取る

実　施

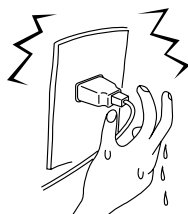
定期的に電源プラグのほこりを取ってください。

ほこりがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります。

安全のため必ずお守りください（つづき）

⚠警告

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない

禁　止

感電の原因になります。

交流100V以外での使用やタコ足配線をしない

禁　止

火災・感電・故障の原因になります。

タンク、本体のお手入れには塩素系、酸性タイプの洗浄剤は使用しない

禁　止

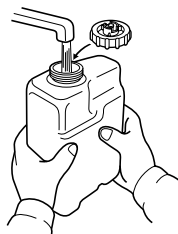
変形や変色することがあります。

⚠注意

タンクの水は毎日新しい水と入れ替える

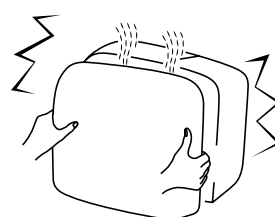
実　施

タンクは毎日振り洗いをし、常に清潔にし、必ず水道水を入れてください。

お手入れせずに使い続けると、汚れや水アカで加湿量が低下したり、カビや雑菌が繁殖し悪臭の原因になります。

運転中はお手入れをしない

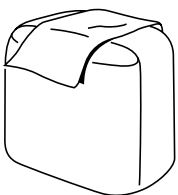
禁　止

運転中は、お手入れをしないでください。

感電やけがの原因になります。

吹出口をふさがない

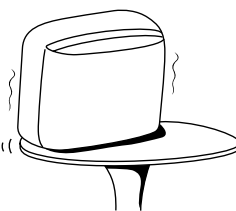
禁　止

吹出口をカーテンやタオルなどでふさがないでください。

故障の原因になります。

不安定なところに置かない

禁　止

乳幼児の近くや不安定なところ、水平でないところには置かないでください。

倒れると水がこぼれます。

電気製品の上に置かない

禁　止

暖房機やテレビなどの電気製品の上に置かないでください。

転倒して水がこぼれたり、水もれすると感電・故障の原因になります。

お手入れ後は部品を確実に取りつける

実　施

加湿フィルター、前パネル、吸込グリルなどの部品をはずしたまま使用しないでください。

故障の原因になります。

電源プラグを持って抜き差しをする

実　施

電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず先端の電源プラグを持って引き抜いてください。

感電・ショート・発火の原因になります。

長期間使わないときは電源プラグを抜く

電源プラグを抜く

長期間使わないときは電源プラグをコンセントから抜き、タンク、加湿水トレイの水を抜いて、特に加湿フィルターはじゅうぶん陰干しして乾燥させてください。

けが・絶縁劣化による感電・漏電火災の原因になります。また、水を抜かないとカビや雑菌が繁殖し、悪臭の原因になります。

お願い

必ず水道水(飲用)を使用

浄水器の水、温水器の水、アルカリイオン水、ミネラルウォーター、井戸水などは絶対に使わないでください。

除菌ができなくなるため、カビや雑菌が繁殖し、悪臭の原因になります。

持ち運びはタンクを抜き必ずハンドルを持って行う

タンクを抜いてゆすらないように持ち運んでください。

タンクに水が入ったまま持ち運ぶとハンドルが破損したり、本体が傾き、水がこぼれる原因になります。

お手入れは定期的に行う

「お手入れのしかた」にしたがってお手入れをしてください。

汚れがひどくなると、カビの発生、悪臭、加湿量の低下の原因になります。

壁や家具に風を直接あてない

加湿器の風が、壁や家具に直接あたらないようにしてください。

壁・家具がいたんだり、しみの原因になります。

凍結に注意

凍結のおそれのあるときは、タンクと本体内の水を捨ててください。

凍結しますと、故障の原因になります。

加湿しすぎない

室内の結露やカビが発生する原因になります。

お部屋の加湿以外には使用しない

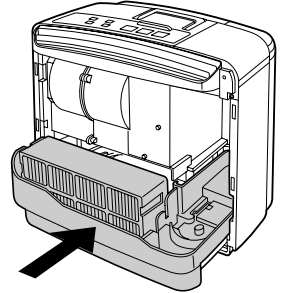
この製品は一般家庭用のフィルター気化式加湿器です。お部屋の加湿以外には使用しないでください。

ハンドルを手前に倒さない

ハンドルは手前に倒れない構造になっています。無理に倒そうとすると、ハンドルが破損します。

ハンドルで指をはさまない

ハンドルを動かすとき、本体との間に指をはさまないように注意してください。また、ハンドルははずさないでください。

加湿水トレイをしっかり戻す

加湿水トレイ内の水を捨てた後は、加湿水トレイをしっかりと本体に戻してください。

知っておいていただきたいこと

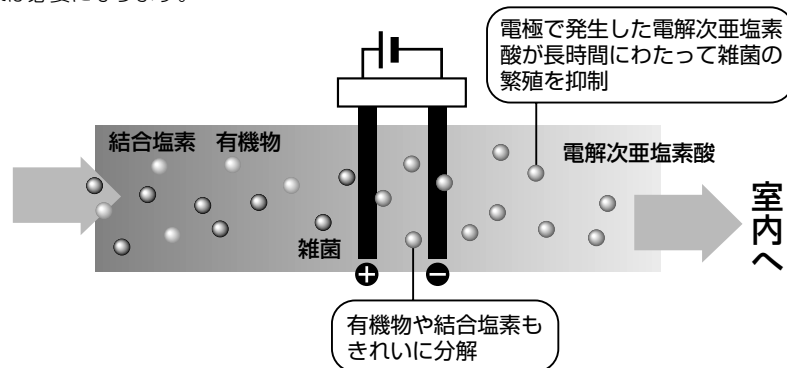
必ず水道水（飲用）をご使用ください

浄水器の水、温水器の水、アルカリイオン水、ミネラルウォーター、井戸水などは絶対に使わないでください。
除菌ができなくなるため、カビや雑菌が繁殖し、悪臭の原因になります。
温水（40℃以上）、化学薬品、汚れた水、芳香剤や洗剤を含んだ水なども絶対に使わないでください。
除菌ができなくなったり、本体の変形や故障の原因になります。

電解水除菌システムで清潔加湿

水道水の**塩素イオン**を利用した電気分解で生成する次亜塩素酸により除菌するシステムです。ただし、水道水中の塩素イオン濃度が低い場合は除菌効果が弱くなるので、使用環境によりカビや悪臭が発生する場合があります。
その場合はお手入れをこまめに行ってください。

コンセントからの通電だけで除菌効果があります。
防カビ素材を採用した加湿フィルターとともに**清潔な加湿**※を実現しました。

※加湿フィルター等のお手入れは必要になります。

運転中以外のときでも、タンクに水が入っている場合は、**電源プラグを抜かないでください。電解水除菌システム**が働かないため、カビや雑菌が繁殖し悪臭の原因になります。また、お手入れの時期を正しくお知らせすることができません。

次のような場所では使用しないでください

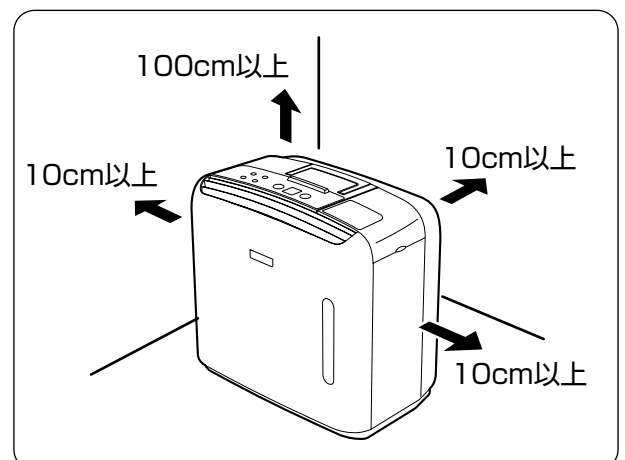
窓際など外気の影響を受けやすい場所、エアコンなどの風が直接あたる場所
お部屋の湿度が正しく表示できなくなります。

直射日光があたる場所、暖房機のそば
本体などが変形・変色する原因になります。また、温度が上がるため、カビが繁殖しやすくなります。

カーテンの近くやじゅうたん・ふとんの上
吹出口や吸込グリルがふさがれ故障の原因になります。
また、吸込グリルからほこりを吸い込むと故障の原因になります。

高いところ、傾いた場所、不安定な場所
地震や、人が触れて落下したり、転倒する原因になります。
傾いた場所に設置すると、フロートが作動して運転が停止する場合があります。

スピーカーや電磁調理器の近くなど、磁気の多いところ
フロートが誤動作し、給水を正しくお知らせできない場合があります。

加湿器の周囲は右図に示す距離をとってください。

気化式について

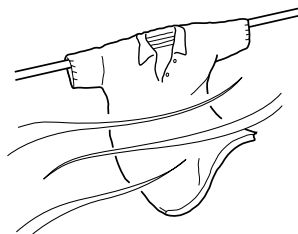
湯気（蒸気）は見えません

水を沸騰させない気化式なので湯気（蒸気）は見えません。

吹出口から出る風は暖かくありません

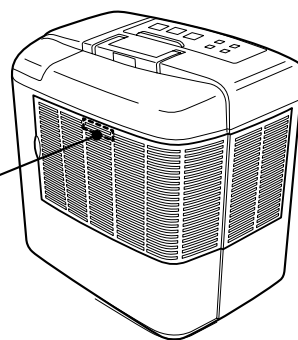
気化するときに、吸い込んだ空気の熱を奪うため、吹き出す風は暖かくありません。お部屋の広さによっては寒く感じることがあります。

湿度や温度の条件によって加湿量が変わります

室内の湿度が高い場合や温度が低い場合には連続運転でも加湿量が少なくなることがあります。

洗濯物が乾くとき、水分が気体になって放出される状態と同じ原理が **気化式** です。
水を沸騰させていないので本体も吹出口も熱くなりません。

現在湿度表示について（湿度表示はめやすとしてお使いください）

現在湿度表示は、本体内部にある湿度センサーで測った湿度を表示します。

- 同じ室内でも温度差や気流などのため、場所によって湿度が異なる場合があります。
- 運転開始直後は、本体内部の温度や湿度の影響を受けるため、現在湿度表示が安定するまで、約5〜10分かかります。
- お手持ちの湿度計と表示が異なる場合があります。

湿度について

お部屋の湿度が上がりにくいとき

- お部屋が広すぎませんか。　⇒　適用床面積をめやすとして使用してください。☞ P18
- エアフィルターがほこりで目詰まりしていませんか。　⇒　エアフィルターをお手入れしてください。☞ P13
- 加湿フィルターに、水あかやごみが付着していませんか。　⇒　加湿フィルターをお手入れしてください。☞ P14〜15

適用床面積の範囲で使用していても、お部屋の湿度が上がりにくいとき

- 換気の度合、外気の乾燥の程度、床や壁の材質によっては、適用床面積の範囲で使用していても、湿度が上がりにくいことがあります。

お願い！

- 現在湿度表示の湿度が上がらない場合は、タンク内の水量を水位窓よりご確認ください。
  ご使用開始時と比べて、タンク内の水残量が減っている（1時間あたり2〜3cm程度）場合は、本機は正常に加湿運転を行っています。上記のような使用環境によって低めの湿度を認識しているためですので、ご安心してご使用ください。

各部のなまえ

＜本体＞

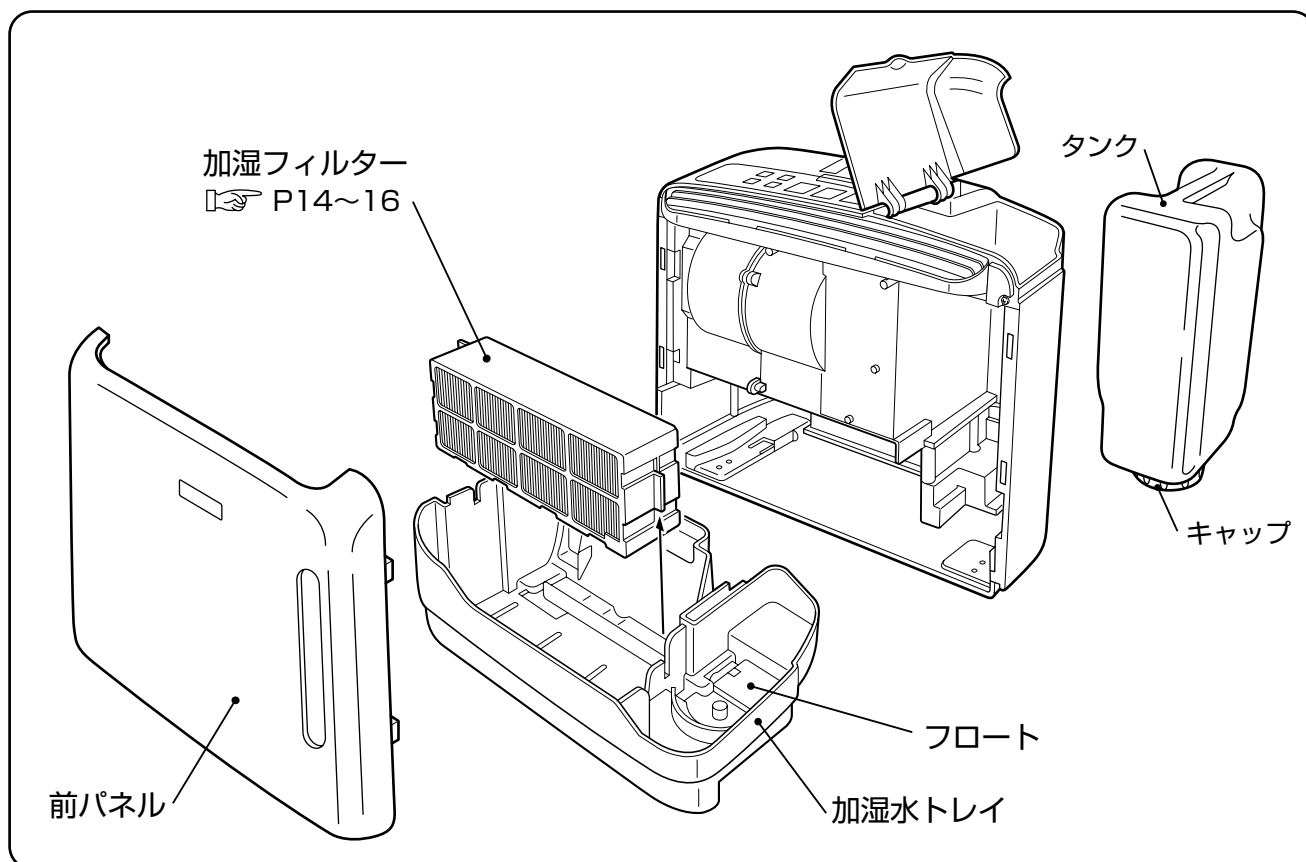
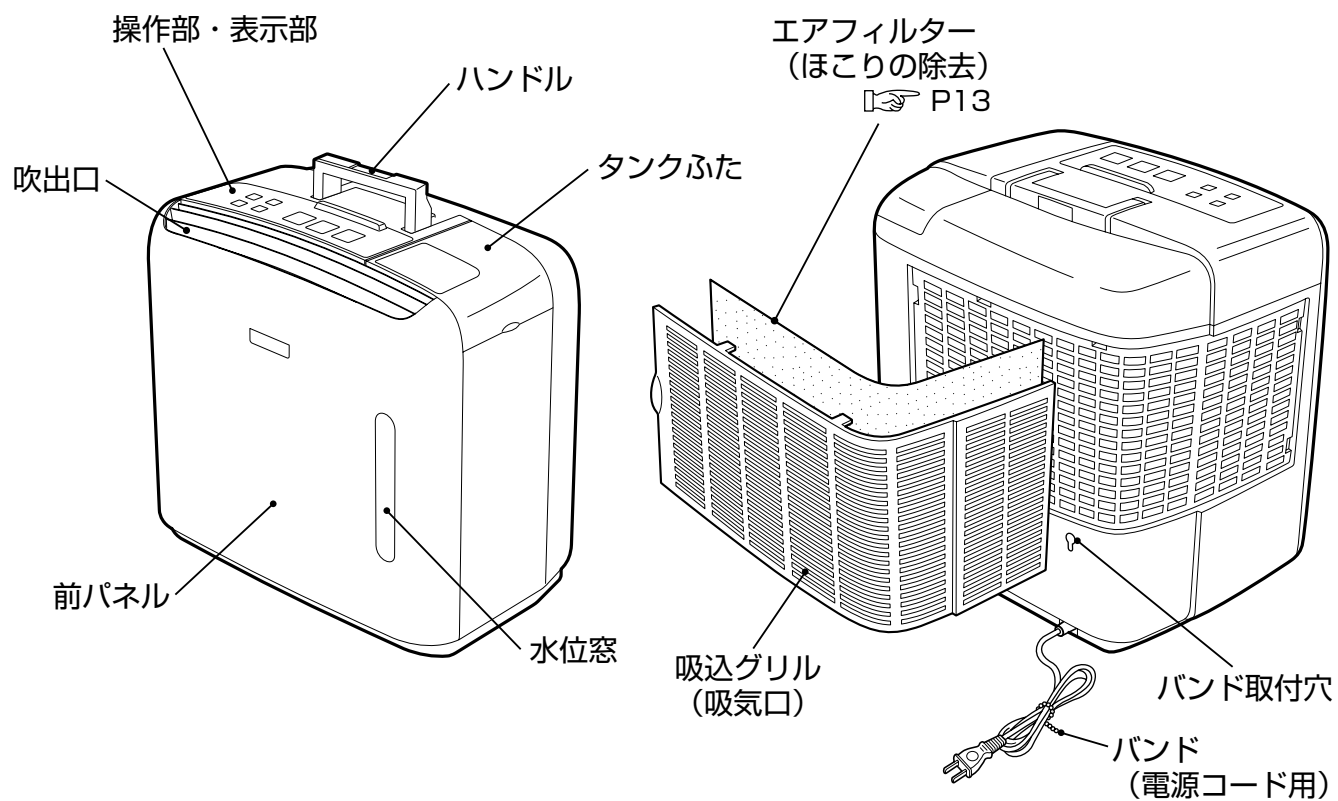
加湿フィルター
☞ P14〜16

タンク

キャップ

フロート

前パネル

加湿水トレイ

☞ このマークは説明のあるページを示しています。

＜操作部・表示部＞ ※図は説明のため全部「点灯・表示」した状態です。

お手入れランプ ☞ P14～15
・加湿フィルターのお手入れ時期が来ると点滅します。

お手入れランプリセットスイッチ ☞ P14
・お手入れランプ点滅中に、約3秒間押し続けると、消灯します。
※お手入れを行ってから、お手入れランプを消灯してください。

チャイルドロックスイッチ ☞ P11
・チャイルドロックの「入」「切」を行います。
・約3秒間押し続けると、チャイルドロックのセット、解除ができます。

パワーモニターランプ ☞ P10
・運転状態をお知らせします。

給水（点滅）ランプ ☞ P12
・タンクの水がなくなったことをお知らせします。

おやすみスイッチ ☞ P11
・おやすみ運転の「入」「切」を行います。

切タイマースイッチ ☞ P11
切タイマー時間を設定します。
→2Hタイマー→4Hタイマー→解除

運転切換スイッチ ☞ P10
→自動標準→自動高め→強（連続）→中（連続）→静音（連続）

運転スイッチ ☞ P10
・運転の「入」「切」を行います。

デジタル表示部
・現在の湿度（%）を表示します。
・除菌開始時を表示します。

デジタル表示例

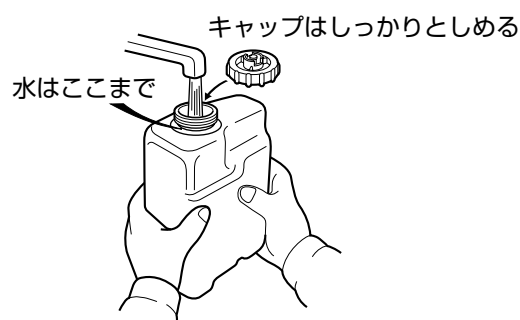
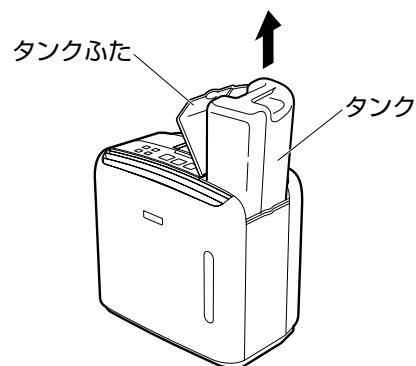
● 現在湿度55%を表示しています。湿度は30～80%まで5%刻みで表示します。湿度表示はめやすとしてお使いください。

● 電源プラグを差し込んだときなど電解水除菌システムが作動すると、最初の約10秒間、CLと表示します。その後、運転中は現在湿度表示となります。

使う前の準備

1 本体を固定している輸送用テープをはずす。

2 タンクへの給水

①タンクふたを開き、タンクを取り出す。
②タンクに水道水（飲用）を入れる。
☞ P5：『必ず水道水（飲用）をご使用ください』をお読みください。
③キャップをしっかりとしめて、本体にセットし、タンクふたを閉める。

- **キャップは確実にしめ、水がもれていないことを確認してください。**
- **水が入ったタンクを本体にセットするときは、静かにセットしてください。本体が破損し、水もれの原因になります。また、タンクふたが破損する原因になります。**
- **タンクには約4リットルの水が入ります。**

注意

タンクの水は毎日新しい水道水と入れ替え、常に清潔にしてお使いください。

- そのまま使い続けると、カビや雑菌が繁殖し、悪臭の原因になります。

3 電源プラグをコンセントに差し込む（交流100Vのコンセントを使用）

- 通電後、しばらくすると除菌を開始します。（通電中は定期的に除菌を行います。）
- 除菌開始から約10秒間、デジタル表示部に CL が表示されます。
- 初めて使用するときや、加湿フィルターを交換したときなど、加湿フィルターが乾燥した状態から運転を開始する場合は、給水後 10分 以上待ってから運転スイッチを押してください。

警告

電源プラグは根元まで確実に差し込む

- 差し込みが不完全だったり、いたんだプラグ、ゆるんだコンセントは使用しないでください。**感電や発熱による火災の原因になります。**

お願い！

- 2シーズン以降、初めてお使いになるときは、必ず本体や各部の点検をしてください。汚れ等目立つときは、13～15ページの『お手入れのしかた』にしたがってお手入れをしてから使用してください。

使いかた

運転する

運転 入/切 を押す。

- パワーモニターランプが点灯します。
- 同時にデジタル表示部が点灯し「5」「4」「3」「2」「1」と表示してから現在湿度（%）を表示します。

運転を止める

運転 入/切 を押す。

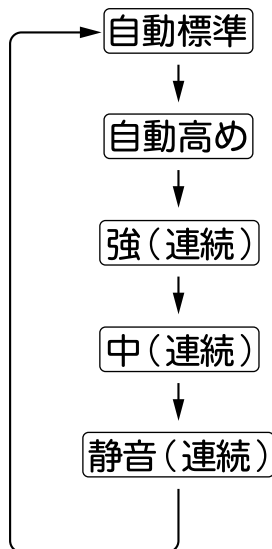
- デジタル表示部およびパワーモニターランプの表示が消えます。

運転を切換える

運転 切換 を押す。

押すごとに

となります。

お知らせ

- 運転切換スイッチ 運転切換 を押すと「ピッ」と音が鳴り、しばらくしてから自動的に選択した運転モードへ切り替わります。

自動標準

湿度50～55%を保つように運転します。
自動標準ランプが点灯します。
現在湿度が60%を越えると、加湿を一時停止します。

自動高め

湿度60～65%を保つように運転します。
自動高めランプが点灯します。
現在湿度が70%を越えると、加湿を一時停止します。

強（連続）

湿度に関係なく強風で連続運転します。

中（連続）

湿度に関係なく中風で連続運転します。

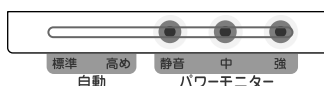
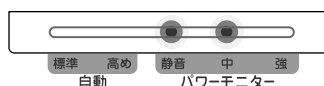
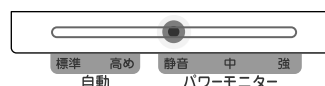
静音（連続）

湿度に関係なく弱風で連続運転します。

- 運転切替スイッチは、自動標準 に初期設定されています。
- 自動標準 と 自動高め は、現在湿度に応じて、強、中、静音のいずれかで運転します。
- 強（連続）、中（連続）、静音（連続） は、現在湿度が80%を越えると、加湿を一時停止します。
- 電源プラグを抜くと、運転切換などの設定は、すべて初期設定に戻ります。

パワーモニターランプ

- パワーモニターランプは、運転状態をお知らせする機能です。加湿するめやすとしてお使いください。

パワーモニターランプは運転状態によって、つぎのように点灯します。

おやすみ運転

現在湿度に応じて中または静音運転をします。就寝時などにお使いください。

1 運転中に おやすみ を押す。

- おやすみランプが点灯します。
- デジタル表示部（現在湿度）および全てのランプは暗めの設定となります。
- 湿度50～55%を保つように運転します。
  （現在湿度が60%を越えると加湿を一時停止します。）
- おやすみ運転中にタンクの水がなくなると給水ランプ１つが点滅します。（メロディは鳴りません。）☞ P12

2 解除するときは、再度 おやすみ を押す。

- おやすみランプが消灯します。

切タイマー運転

2時間後または4時間後に運転を停止します。

1 運転中に 切 タイマー を押す。

- 切タイマーランプの2Hまたは4Hが点灯します。
- デジタル表示部（現在湿度）および全てのランプは暗めの設定となります。
- 切タイマー運転中にタンクの水がなくなると給水ランプ１つが点滅します。（メロディは鳴りません。）☞ P12

切 タイマー を押すごとに →2時間 → 4時間 → 解除 の順に切タイマー時間の設定が変わります。

2 解除するときは 切 タイマー を1～2回押す。

- 切タイマーランプが消灯します。

チャイルドロック

お子さまのいたずらや誤操作を防ぎます。

1 チャイルドロック を約3秒間押す。

- チャイルドロックランプが点灯します。
- チャイルドロックになるとすべての操作ができません。

2 解除するときは、再度 チャイルドロック を約3秒間押す。

- チャイルドロックランプが消灯します。

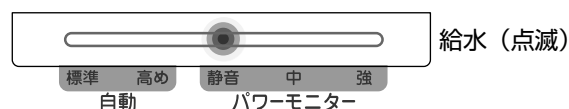
タンクの水がなくなると

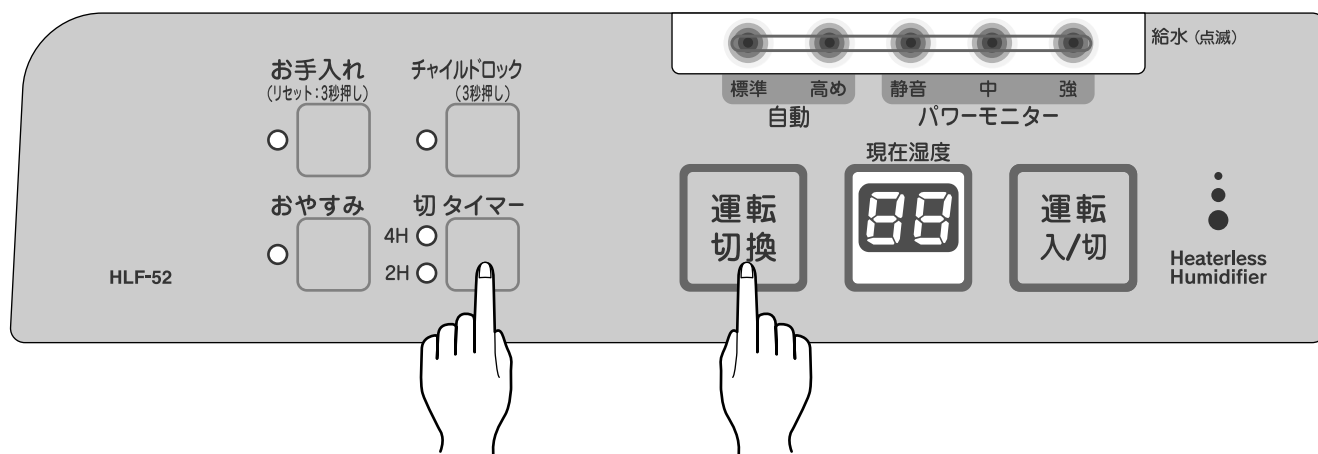
タンクの水がなくなると、自動的に運転を停止し、給水ランプ（☞ P8）の**イルミネーション点滅とメロディー**でお知らせします

タンクに水道水を給水し **を入れなおしてください**

給水ランプの点滅について

タンクの水がなくなると、通常、給水ランプ（☞ P8）のイルミネーション点滅とメロディーでお知らせしますが、次の場合は静音部ランプのみ点滅します。

1. 切タイマー運転中のとき（メロディは鳴りません。）
   ☞ P11
2. おやすみ運転中のとき（メロディは鳴りません。）
   ☞ P11
3. パワーモニターランプの明るさを暗めの設定にしたとき
   ☞ P12

ランプの明るさと設定について

デジタル表示部（現在湿度）および全てのランプの明るさは、暗めの設定に変更することができます。運転中に切タイマースイッチと運転切換スイッチを同時に約3秒間押してください。なおこの設定は、電源プラグを抜いても解除されません。解除するときは、再度同じ操作をしてください。
※運転してない時や切タイマー設定中（☞ P11）は、設定変更できません。

同時に約3秒間押してください

お知らせ

- 給水のメロディーは、約6秒間流れます。途中でメロディーを止めたいときは、運転スイッチを押してください。
  [この時、給水ランプも消えます。]
- **給水ランプが点滅した場合、除菌ができなくなりますので、時間をおかずに水道水を給水してください。**
- 運転中以外のときでも、タンクに水が入っている場合は**電源プラグを抜かないでください。電解水除菌システム**が働かないため、カビや雑菌が繁殖して悪臭の原因になります。また、お手入れの時期を正しくお知らせすることができません。

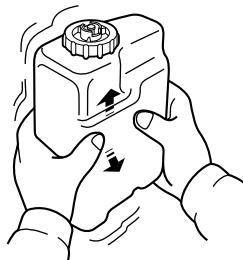
お手入れのしかた

お手入れは定期的に行ってください。汚れがひどくなると加湿量の低下や故障・悪臭の原因になります。

警告

お手入れのときは電源プラグを抜く
タンク、本体のお手入れには塩素系、酸性タイプの洗浄剤は使用しない

タンクのお手入れ（毎日）

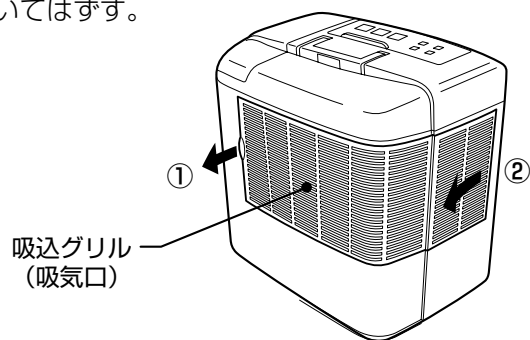
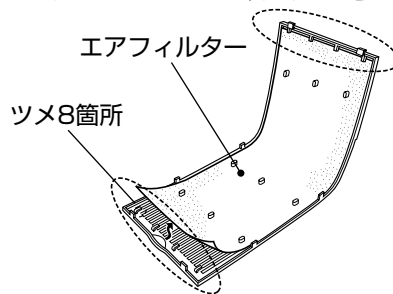
少量の水を入れ、キャップをしめて振り洗いをし、常に清潔にしてください。
給水は必ず水道水（飲用）を使用してください。

本体のお手入れ（汚れたら）

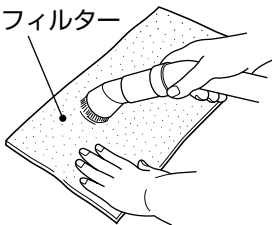
- 水に浸した柔らかい布で拭いてください。
- 汚れがひどいときは、柔らかい布を水で薄めた中性洗剤に浸し、固くしぼってから汚れを拭きとった後、水ぶきをしてください。

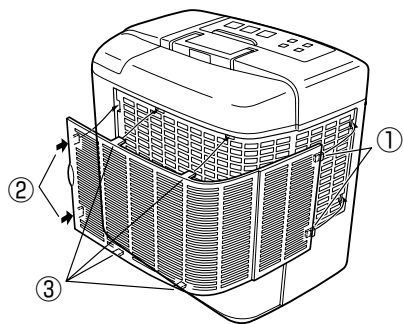
お願い！

- 変形、変色防止のため、ベンジン、シンナー、アルカリ洗剤、クレンザーなどは使用しないでください。
  また、化学ぞうきんを使用するときは、その注意書きにしたがってください。

エアフィルターのお手入れ（1週間に1～2回）

1 吸込グリルの両サイドを①、②の順で手前に引いてはずす。

2 吸込グリルのツメからエアフィルターをはずす。

3 掃除機でほこりを取り除く。
エアフィルターを吸い込まないように注意してください 。

※使い続けるうちに変色することがありますが、使用上の不具合はありません。
※水洗いはしないでください。縮んだり、やぶけたりする場合があります。

4 エアフィルターを元に戻し吸込グリルを取り付ける。

①右側のツメ2箇所を先に差し込む
②左側のツメ2箇所を押し込む
③上下を押して取り付ける

お願い！

- エアフィルターの汚れがひどくなると加湿量が少なくなったり、正しく湿度表示ができなくなります。
  1週間に1～2回は必ずお手入れをしてください。
- エアフィルターをはずしたまま使用しないでください。故障の原因になります。

お手入れランプが点滅したら（2週間に1回程度）

電源プラグを差し込んでから、およそ2週間経過するとお手入れランプが点滅して、加湿フィルターと加湿水トレイのお手入れ時期をお知らせします。
※お手入れランプが点滅しても運転は停止しません。

お手入れ
(リセット：3秒押し)
点滅

1 電源プラグを抜く
電源コードを束ねて、付属のバンドで固定してください。

2 加湿フィルターを取り出す
※加湿フィルターは多量の水分を含んでいますのでご注意ください。

3 加湿フィルターをお手入れする
☞ P15

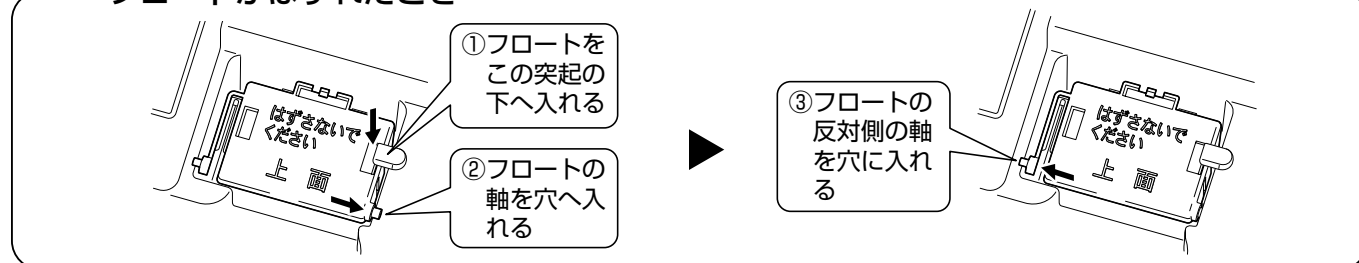
4 加湿水トレイに残った水を排水する

5 加湿水トレイをお手入れする
水に浸した柔らかい布で水あか等の汚れを取り除いてください。

バンドの球をバンド取付穴へ差し込む
①タンクを抜く
②前パネルをはずす
・両サイドを持って持ち上げる
※無理に手前に引くと器具を破損するおそれがあります
・そのまま手前に引く
③加湿水トレイを引き出す
④加湿フィルターを加湿水トレイから取り出す
フロートははずさないでください

6 部品を元どおりセットする
お手入れが終わったら部品を元どおりにセットし、電源プラグを根元まで確実に差し込んでください。

7 お手入れランプをリセットする
お手入れスイッチを約3秒間押してください。お手入れランプが消灯します。

フロートがはずれたとき

お知らせ

- 使い続けるうちに加湿フィルターが変色しますが、これは水道水中の不純物（鉄・カルシウム・マグネシウム等）や空気中のほこり等によるものですので、使用上の不具合はありません。
- 加湿フィルターの汚れ具合は、水質等の違いや地域によって異なります。また、使用頻度によっても異なりますので、お手入れランプはめやすとしてご利用ください。
- 加湿フィルターにほこりが多く付着すると、カビが発生しやすくなります。こまめに洗浄し、汚れがひどい場合は別売品の交換用加湿フィルターと交換してください。

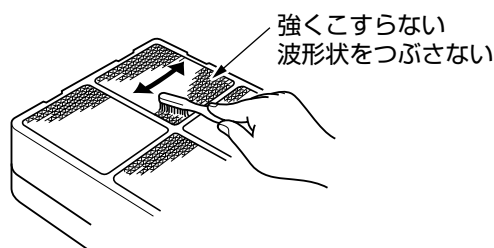
お手入れのしかた（つづき）

加湿フィルターのお手入れ

通常のお手入れ

加湿フィルターを水洗いしてください。

① 加湿フィルターをケースごと容器の中ですすぎ洗いしてください。

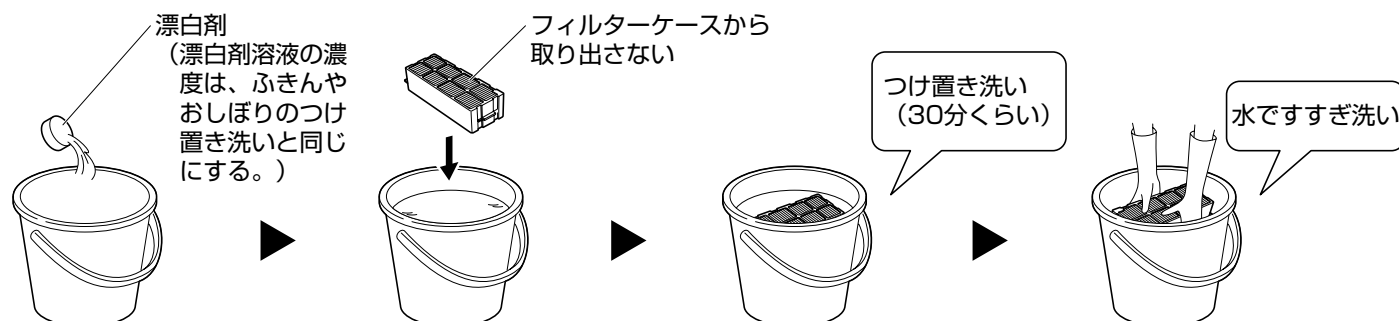
② 加湿フィルターの表面についた水あかを歯ブラシ等で**軽く**こすり落としてください。

③ ①→②の手順を3～4回くり返してください。

④ 最後に再び水ですすいでください。

汚れがひどい場合のお手入れ

加湿フィルターを市販の塩素系台所用漂白剤で、つけ置き洗いしてください。

① 加湿フィルターをケースごと①の漂白剤溶液に30分くらい浸してください。

② つけ置き後は漂白剤溶液分が残らないように水で充分にすすいでください。

※ 台所用漂白剤でつけ置き洗いをしても、水道水中の不純物（鉄・カルシウム・マグネシウム等）による加湿フィルターの変色や硬化は元には戻りません。

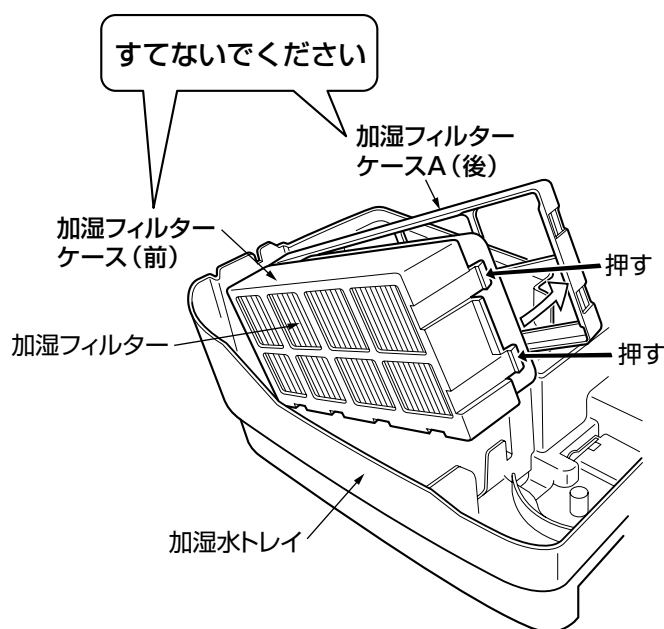
お知らせ

● **加湿フィルターの洗浄には、絶対に塩素系台所用漂白剤以外の洗剤やクエン酸を使わないでください。除菌の効果がなくなります。また、異なる種類の漂白剤は混ぜないでください。**

加湿フィルターの交換のしかた

- **交換時期のめやすは、1シーズン：約6カ月（1日8時間運転）です。**
- **使用条件（水質や使用時間など）によって交換時期は異なります。**
- **次のような状態になったときは、交換してください。**
  - お手入れをしても、においや水あかが取れないとき。
  - 傷みや型くずれがひどいとき。
- **中身の加湿フィルターのみを交換し、加湿フィルターケース（前）・ケースA（後）は続けてお使いください。**
- **加湿フィルターは多量の水分を含んでいます。取り出すときは、水がたれますので加湿水トレイまたは容器の中で作業をしてください。**

加湿フィルターの交換

1. 14ページの『お手入れランプが点滅したら』を参照し、加湿フィルターを取り出します。
2. 右図加湿フィルターケース（前）の矢印部2箇所を押してツメをはずし、加湿フィルターケースA（後）を開いて、はずしてください。
3. 中身の加湿フィルターを取り出します。
4. 別売品の加湿フィルターを袋から出して加湿フィルターケース（前）に収めます。
   ※別売品の加湿フィルターは、周囲のテープをはずさないでそのままご使用ください。
5. もう片方の加湿フィルターケースA（後）を取り付けます。
6. 加湿水トレイに残った水を排水します。
7. 加湿フィルターケースを元どおりに、加湿水トレイの中へセットします。

お願い！

- 使用済みの加湿フィルターは、水分をよくしぼってから不燃ゴミとして捨ててください。

交換用加湿フィルターについて

加湿フィルターは別売品となっております。
お買いあげの販売店でご購入ください。

品番： HLF−52F
メーカー希望小売価格：2,625円(税込)
(希望小売価格は2006年9月現在のものです。)

保　管（長期間使用しないとき）

1. 電源プラグを抜く

2. お手入れをする

- 13〜15ページの「お手入れのしかた」にしたがって、掃除をした後、**各部の水気をよく拭き取り、じゅうぶん乾燥させてください。**
  ※湿ったまま保管するとカビの原因になります。特に加湿フィルターを保存する場合は水をよく切り、**じゅうぶん陰干しして乾燥させてください。**

3. 湿気の少ないところに保管する

- 加湿器の入っていた箱に入れるか、ポリ袋に入れて湿気の少ないところに保管してください。

故障かな？と思ったら

警告

分解修理・改造の禁止

● 分解修理・改造はしないでください。**火災・感電・けがの原因になります。**

エラーのお知らせ（デジタル表示とブザーでお知らせします。）

エラー表示	原因	処置方法
HO	水道水以外の水が給水された	除菌ができなくなるためタンクと加湿水トレイの水を捨て、水道水を入れてから、運転スイッチを入れなおしてください。 ☞P10
	フロートが引っ掛かっている	フロートの周りのゴミを取り除いてから、運転スイッチを入れなおしてください。フロートがはずれたときは、きちんと取り付けてください。☞P14
	器具の故障	この処置をしても正常に戻らないときは運転スイッチを切り、電源コードを抜いてから、お買いあげの販売店にご連絡ください。
HA HC Hd HH HL A8 H1 HE E5	器具の故障	運転スイッチを切り、電源コードを抜いてから、お買いあげの販売店にご連絡ください。

お知らせ

● **エラーHO・HA・HC・Hd・HEの場合は、修理にお出しいただくまでの間の応急措置として、次の方法で、運転をすることができます。**

運転のしかた

①電源プラグをコンセントから一度抜いてから、再度差し込んでください。

② [運転入/切] を押してください。器具が運転を始めます。

運転の制約について

①お手入れ・チャイルドロック・おやすみ・切タイマーは使用できません。また、自動運転はできません。

②現在湿度が80%を越えても、運転を一時停止しません。

停止のしかた

① [運転入/切] を押してください。器具が運転を停止します。

②運転を開始して6時間が経過した時やタンクの水がなくなった時は、器具が自動的に停止します。

停止後、再運転する時は、再度電源プラグを抜き差ししてください。

次の状態は故障ではありません

分解修理を依頼される前に、次のことをもう一度お調べください。それでもなおらない場合は、電源プラグを抜いてから、お買いあげの販売店または、ご相談窓口（裏表紙）へご連絡ください。

症状	原因	処置方法
運転スイッチを入れてもすべてのランプが点灯しない	電源プラグがコンセントからはずれていませんか	電源プラグを根元まで確実に差し込み、運転スイッチ入れてください。 ☞P10
給水ランプが点滅している	タンクに水が入っていない	タンクに水道水を入れ、運転スイッチを入れなおしてください。 ☞P9～10
タンクに水が入っているのに給水ランプが点滅している	運転スイッチを入れなおしましたか	運転スイッチを入れなおしてください。 ☞P10
	加湿水トレイが確実にセットされていますか	加湿水トレイを確実にセットしてください。 ☞P14
	フロートが引っ掛かっていませんか	フロートの周りのごみを取り除いてください。 ☞P14
	本体が傾いていませんか	水平で安定したところに設置してください。
吹出口からの送風がにおう	古い水を使用していませんか	「お手入れのしかた」にしたがって、器具の掃除をし、新しい水道水と入れ替えてください。 ☞P13～15
	加湿フィルターや加湿水トレイに水あかやごみがたまっていませんか	
デジタル表示部が60, 65, 70, 75, 80を表示し、運転が停止している。（パワーモニターランプの両端2つが点灯している）	部屋の湿度が高くなりすぎたためです。	湿度が下がると、自動的に運転を再開します。
塩素の臭いがする	電解水除菌システムによるものです。	故障ではありませんのでそのままご使用してください。
現在湿度表示が他の湿度計の値と違う 湿度表示が上がらない（変わらない）	エアフィルターにゴミがたまっていませんか	エアフィルターを掃除してください。 また、同じ部屋でも場所によって湿度は異なるため、差が出る場合があります。 ☞P13
	運転開始直後に正しい湿度が表示できない場合があります	約20分たってから再度、確認してください。
	窓際など外気の影響を受けやすい場所に設置していませんか	タンクの水量が減っていく場合は正常な加湿運転ですので外気の影響を受けにくい場所に設置してください。☞P5
「ポコ」「ポコ」音がする	タンクから給水する音です	故障ではありませんのでそのままご使用してください。

※運転スイッチを入れたときに、風がまったく出ない場合は、モーターが故障している可能性がありますので、お買いあげの販売店にご連絡ください。

保証とアフターサービス（必ずお読みください）

アフターサービス等について、おわかりにならないときは、お買い上げの販売店かご相談窓口（裏表紙）にお問合わせください。

<table>
<tr><td>❶保証書
（裏表紙についています。）</td><td colspan="2">保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保存してください。
保証期間はお買い上げの日から１年です。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">❷修理を依頼されるときは 持込修理</td><td>保証期間中</td><td>修理に際しましては保証書をご提示ください。
保証書の規定に従って、販売店が修理させていただきます。</td></tr>
<tr><td>保証期間経過後</td><td>修理すれば使用できる場合には、ご希望により修理させていただきます。</td></tr>
<tr><td>❸補修用性能部品の保有期間</td><td colspan="2">フィルター気化式加湿器の補修用性能部品を製造打ち切り後6年間保有しています。
●補修用性能部品とは、その商品の機能を維持するために必要な部品です。</td></tr>
<tr><td>❹ご転居されるときは</td><td colspan="2">ご転居によりお買い上げの販売店のアフターサービスを受けられなくなる場合は、前もって販売店にご相談ください。ご転居先での日立の家電品取扱店を紹介させていただきます。</td></tr>
<tr><td>❺修理料金のしくみ</td><td colspan="2">修理料金＝技術料＋部品代です。
技術料：診断、部品交換、調整、修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器などの設備費、一般管理費などが含まれています。
部品代：修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材等を含む場合もあります。</td></tr>
</table>

仕　様

特定地域（高地、極寒地など）では、所定の性能が確保できないことがあります

<table>
<tr><td colspan="3">形　名</td><td>HLF-52</td></tr>
<tr><td colspan="3">使　用　水</td><td>水道水（飲用）</td></tr>
<tr><td rowspan="9">製品能力</td><td rowspan="3">加　湿　量
(室温20℃、湿度30%)</td><td>強　運転時</td><td>約500mL／h</td></tr>
<tr><td>中　運転時</td><td>約400mL／h</td></tr>
<tr><td>静音運転時</td><td>約200mL／h</td></tr>
<tr><td rowspan="3">連続加湿時間</td><td>強　運転時</td><td>約8時間</td></tr>
<tr><td>中　運転時</td><td>約10時間</td></tr>
<tr><td>静音運転時</td><td>約20時間</td></tr>
<tr><td rowspan="2">適用床面積
（めやす）</td><td>洋室(プレハブ)</td><td>14畳（23m²）</td></tr>
<tr><td>和室(木造)</td><td>8.5畳（14m²）</td></tr>
<tr><td colspan="2">タンク容量</td><td>約4L</td></tr>
<tr><td rowspan="6">電気特性</td><td colspan="2">電　源</td><td>単相100V　50／60Hz</td></tr>
<tr><td rowspan="3">定格消費電力
50／60Hz</td><td>強　運転時</td><td>18／21W</td></tr>
<tr><td>中　運転時</td><td>13／15W</td></tr>
<tr><td>静音運転時</td><td>11／10W</td></tr>
<tr><td colspan="2">電源コード</td><td>1.4m</td></tr>
<tr><td colspan="2">外形寸法（幅・奥行・高さ）</td><td>400mm・255mm・370mm</td></tr>
<tr><td colspan="3">質　量</td><td>5.7kg</td></tr>
<tr><td colspan="3">別　売　品</td><td>加湿フィルター　HLF-52F　2,625円（税込）</td></tr>
</table>

※適用面積（めやす）は、日本電機工業会規格（JEM 1426）に基づき、プレハブ住宅洋室の場合を最大適用面積とし木造和室の場合を最小適用面積としたものです。
ただし、壁・床の材質・部屋の構造・使用暖房器具等によって適用面積は異なりますので、販売店にご相談ください。

ご相談窓口

日立家電品についてのご相談や修理はお買上げの販売店へ

なお、転居されたり、贈物でいただいたものの修理などで、ご不明な点は下記窓口にご相談ください。

修理などアフターサービスに
関するご相談は
TEL 0120−3121−68
FAX 0120−3121−87
（受付時間）365日／9:00〜19:00

商品情報やお取り扱いに
ついてのご相談は
TEL 0120−8802−28
FAX 03−3260−9739
（受付時間）9:00〜17:30／携帯電話、PHSからもご利用できます。土曜・日曜・祝日と年末年始・夏季休暇など弊社の休日は休ませていただきます

- お客様が弊社にお電話でご連絡いただいた場合には、正確にご回答するために、通話内容を記録（録音など）させていただくことがあります。
- ご相談、ご依頼いただいた内容によっては弊社のグループ会社に個人情報を提供し対応させていただくことがあります。
- 出張修理のご依頼をいただいたお客様へ、アフターサービスに関するアンケートハガキを送付させていただくことがあります。

愛情点検

●長年ご使用のフィルター気化式加湿器の点検を！

ご使用の際このようなことはありませんか

●電源を入れても、ときどき運転しないときがある。
●電源コードを動かすと通電したりしなかったりする。
●差込プラグ、電源コード、コントローラーなどが異常に熱い。
●焦げ臭いにおいがする。
●その他の異常や故障がある。

お願い

故障や事故防止のため、コンセントから差込プラグを抜いて販売店にご連絡ください。
点検・修理についての費用など詳しいことは、販売店にご相談ください。

フィルター気化式加湿器保証書　持込修理

形名	HLF-52形	保証期間	本体：1年
※お買い上げ日	平成　年　月　日		
※お客様	ご住所 〒 ご芳名　様		
※販売店	住所 店名 電話（　）		

保証期間内に取扱説明書、本体ラベル等の注意書きにしたがって正常な使用状態で使用していて故障した場合には、本書記載内容にもとづきお買い上げの販売店が無料修理いたします。
お買い上げの日から左記の期間内に故障した場合は、商品と本書をお持ちいただき、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。なお、商品をお買い上げの販売店（修理申出先）やメーカーへ送付した場合の送料等はお客様の負担となります。
お客様にご記入いただいた保証書の写しは、保証期間内のサービス活動及びその後の安全点検活動のために記載内容を利用させて頂く場合がございますので、ご了承ください。

※印欄に記入のない場合は無効となりますから必ずご確認ください。

1. 保証期間内でも次のような場合には有料修理となります。
(イ)使用上の誤り、または改造や不当な修理による故障または損傷。
(ロ)お買い上げ後の落下、引っ越し、輸送等による故障または損傷。
(ハ)火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害や異常電圧による故障または損傷。
(ニ)車両、船舶にとう載して使用された場合に生じた故障または損傷。
(ホ)業務用に使用されて生じた故障または損傷。
(ヘ)本書のご提示がない場合。
(ト)本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合あるいは字句を書き換えられた場合。

2. この商品について出張修理をご希望の場合には、出張に要する実費を申し受けます。
3. ご転居の場合は事前にお買い上げの販売店にご相談ください。
4. 贈答品等で本書に記入してあるお買い上げの販売店に修理をご依頼になれない場合には、ご相談窓口（☞上記）にご相談ください。
5. 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保存してください。
6. 本書は日本国内においてのみ有効です。
Effective only in Japan.

●この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。この保証書によって保証書を発行している者（保証責任者）、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店またはご相談窓口（☞上記）にお問合わせください。
●保証期間経過後の修理や補修用性能部品の保有期間については取扱説明書の「保証とアフターサービス」（☞18ページ）をご覧ください。

修理メモ

株式会社 日立リビングサプライ
〒162-0814 東京都新宿区新小川町6-29（アクロポリス東京）
TEL.03(3260)9611　FAX.03(3260)9739

この商品は海外では使用できません。（FOR USE IN JAPAN ONLY）